

緑の風

JR東労組
NEWS



JR東労組ホームページ

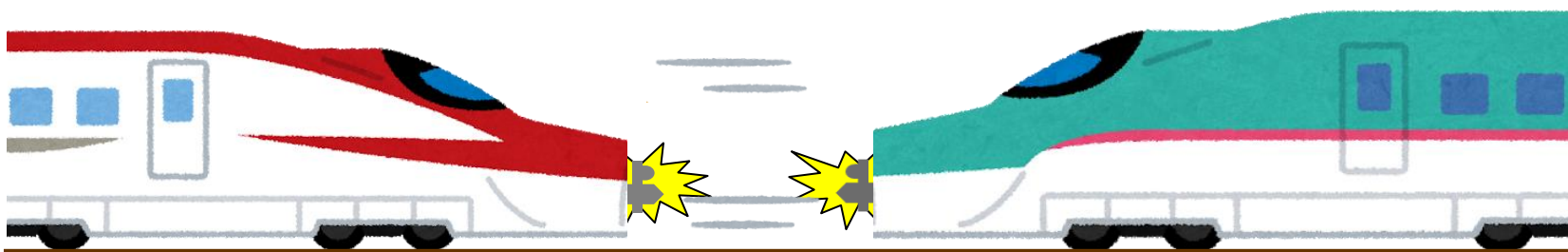
East Japan Railway Workers' Union

2024年9月22日 No.31

前代未聞

新幹線で列車分離！

対応や原因究明にあたられている皆さん、本当にお疲れ様です！



9月19日、東北新幹線・古川～仙総所間において、はやぶさ・こまち6号が約315km/hで走行中、中間運転台の連結面で列車分離する重大な事象が発生しました。列車は緊急停止し、幸いにもお客さま・乗務員に怪我はありませんでしたが、JR東労組として極めて重大な事象と認識しています。職場では「原因が分からないのに併合運転して良いのか」など、疑問と不安の声が出されています。

昨年末に新幹線統括本部長名で「利益の最大化に向けて構造改革に取り組むと共に増収・コストダウンを続け『稼ぐ』ことにこだわる」と掲示が出されて以降、命に関わる事故・事象が相次いでいます。偶発的と捉えるのではなく、危機的状況であることを労使で受け止めなければなりません。

JR東労組は「職場の声」をもとに、「責任追及から原因究明へ」の安全哲学のもと、新幹線の安全風土再確立に向けて向き合います！

2024年に発生した東北新幹線の主な事故・事象

- 1月23日 大宮～上野間で架線垂下し停電、終日運転見合わせ。復旧作業中に協力会社の方が感電される
- 2月1日 やまびこ65号が仙台～古川間にて破損した防護柵と衝撃
- 3月6日 つばさ121号が滑走で分岐器(80km/h制限)を145km/hで通過、郡山駅を約520m過走し停止現示の出発進路に進入。お客さまが怪我される
- 3月29日 大宮～小山間で木の枝による停電が発生、約3時間運転見合わせ
- 4月2日 保守用車両(確認車)から油漏れ、約5時間半運転見合わせ

「たまたま事象が続いている」と切り縮めるのではなく、職場現実や悩みから問題点を掴み、原因を究明しよう！